

## 成長の勢いが増すとみられる米国経済

Raku  
Yomi

楽読(ラクヨミ)

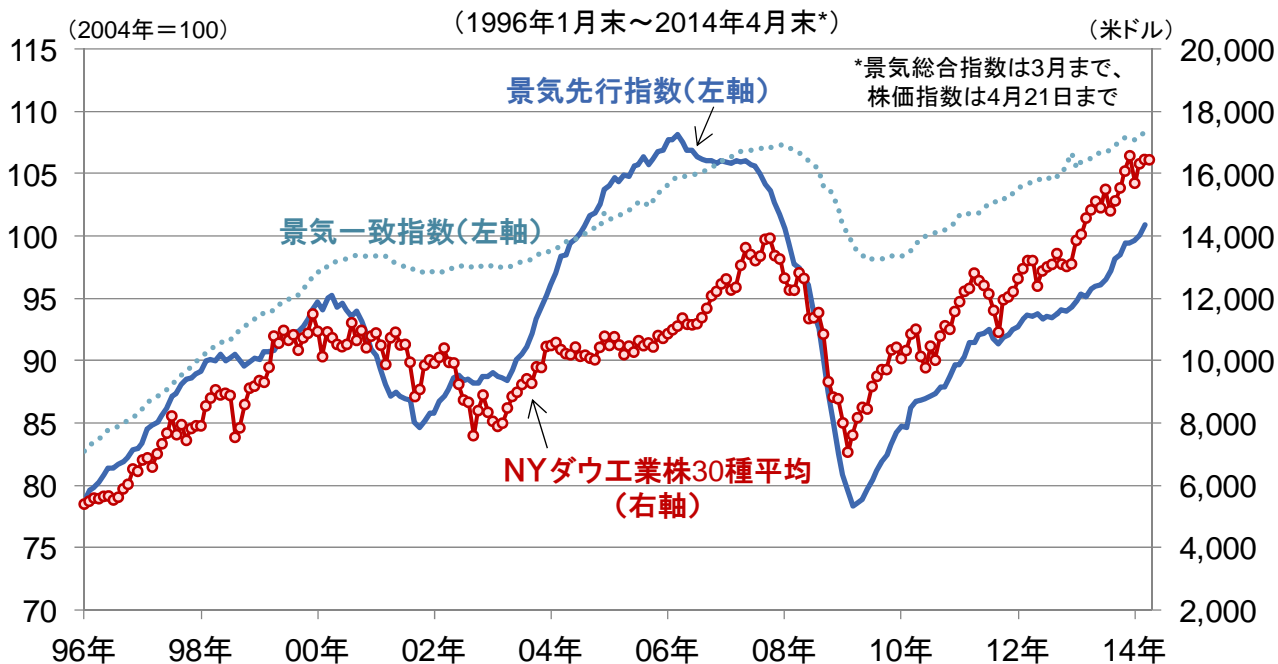
nikko am  
fund academy

足元で発表されている米国の主要経済指標は、悪天候による足かせが弱まり、経済活動が回復し始めていることを示すものが多くなっています。そうした中、21日に米民間調査機関コンファレンス・ボードが発表した3月の米景気総合指数は、注目度の高い景気先行指数で前月比+0.8%の100.9と、3か月連続の上昇となり、米景気の先行きに対する期待を高めるものとなりました。

景気先行指数は景気に先行して動くとされている10の経済・市場指標で構成されています。そのうち3月の指数の上昇に寄与したのは6指標で、特に、製造業・週平均労働時間や新規失業保険申請件数など労働市場関連の指標の改善、株式相場の上昇などがプラスに寄与しており、雇用関連を中心に経済の改善が進んでいることが示されました。景気先行指数は、実体経済に対し3~6か月先行して動く傾向があるとされており、コンファレンス・ボードでは、「春の終わりから夏の間、経済成長が加速していくことを示唆している」と指摘しています。

こうした景気先行指数およびコンファレンス・ボードの見通しを踏まえると、米国の実質GDP成長率は、寒波などの影響で減速を余儀なくされた2014年1-3月期を経て、4-6月期から7-9月期にかけては成長の勢いが加速する可能性が高いと考えられます。米国株式市場では、ハイテク株やバイオ関連株の急落などをきっかけに、主要株価指数が4月以降軟調な展開となっていますが、米景気見通しの改善は引き続き、株価の大きな下支え要因として注目されます。

## 米国の景気総合指数(景気先行・一致)と株価指数の推移



(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。